

# ふるさと通信 Vol. 38

2014年3月

年が明けたと思ったらあっという間にもう3月、いつものことですが、雪と格闘するうちに冬は瞬間に過ぎ去ってしまう感があります。それにしても、今年は関東地方の広い範囲で大雪が降り本当に驚きました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、物流も長期間停滞した為、予定通り荷物をお届けできなかった方々には、大変ご不便をおかけしました。ここまで予想外の天候だと、たまたまの異常気象なのか来年からもなんだか心配になります。さて、実は参加している農業技術団体から要請があり、2月の頭にドイツとオランダへの視察ツアーに夫婦で参加しました。気がつけば海外なんて14年ぶり、雪や子ども達の事も心配でしたが、そうそうある機会ではないし、両親に家のことを任せられるのも今のうちかと思いついた次第です。ドイツでは、脱原発に向け農村が自然エネルギーの供給場所として脚光を浴びており、農地に敷き詰められた太陽光発電パネルや多くの風力発電風車にまず驚き、ドイツの本気度を実感しました。穀物サイレージ（家畜の餌）を大量に投入してメタンガスを発生させ、それにより発電したり暖房用のお湯を沸かしたりしている施設では、1つの施設で1日100トンも発電の為に穀物を使用するなんて、食料自給率の低い日本とはちょっと感覚が違いかもなあと感じました。オランダでは、スマートアグリと言われる、工場のように人工的に環境を管理して農作物を育てる技術を研究しているコンサル企業を視察しました。土と触れあわない農業には違和感も少しありますが、色々工夫して高い生産性をあげている点はとても参考になりました。直接専門の分野ではなかったですが、今後少しでも役立てられたらいいなと、気持ちを新たにしているところです。

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ  
“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>



雪が降る度に施設の雪かき！



雪解けの霽に覆われる日も増え、田んぼの畦も顔を出しました。春間近です！



ドイツのバイオガ  
ス発電施設とオランダ  
の太陽光ハウス。



ロッテルダムのキュービックハウス！ちゃんと人が住んでるそうです。オランダの人は新しい事へのチャレンジが好きで失敗を恐れない気質を持っているとのこと。建物もユニークなものが多かったです。地震とかあれば大変だろうななんて心配しちゃいました。

今回のサービス品は、大根の甘酢漬けです！さっぱりした味と歯ごたえをお楽しみ下さい。季節の変わり目、寒暖の差が激しい日が多くなるとはと思いますが、体調等崩されませんようご自愛下さい。

2014年3月1日 金谷 武志

ホームページ : <http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール : [info@kanaya-farm.jp](mailto:info@kanaya-farm.jp)